

セフゾン Q&A リスト

分類	内容
使用法	セフゾンとワルファリンとの相互作用について教えてください。
使用法	セフゾンと制酸剤(アルミニウム又はマグネシウム含有)との相互作用について教えてください。
使用法	セフゾンと鉄剤との相互作用について教えてください。
特定患者	セフゾンの腎障害患者・透析患者への投与は可能ですか。
薬効・薬理・ 薬物動態	セフゾンの代謝・排泄について教えてください。
使用法	セフゾンとカルシウム製剤を同時投与することは可能ですか。
特定患者	セフゾンを妊婦に投与可能ですか。
使用法	セフゾンを粉ミルク摂取している児に投与した場合、吸収に影響はありますか。
使用法	セフゾン細粒小児用を成人に投与できますか。

【製品名】

セフゾン

【分類】

使用法

【質問】

セフゾンとワルファリンとの相互作用について教えてください。

【回答】

セフゾンの添付文書に以下の様に記載しております。

10. 相互作用

10. 2 併用注意(併用に注意すること)

《ワルファリンカリウム》

臨床症状・措置方法:ワルファリンカリウムの作用が増強されるおそれがある。

ただし、本剤に関する症例報告はない。

機序・危険因子:腸内細菌によるビタミンKの産生を抑制することがある。

一般に、腸内細菌にも強い抗菌作用を持つ薬剤は、その投与により腸内細菌が死滅減少し、ビタミンKの産生を抑制することがあり、その結果としてワルファリンの血液抗凝固作用が増強されます¹⁾。

参考資料

1)村谷哲郎 他:臨床と研究,83(8):1157-1161,2006

【製品名】

セフゾン

【分類】

使用法

【質問】

セフゾンと制酸剤(アルミニウム又はマグネシウム含有)との相互作用について教えてください。

【回答】

セフゾンの添付文書に以下の様に記載しております。

10. 相互作用

10. 2 併用注意(併用に注意すること)

《制酸剤(アルミニウム又はマグネシウム含有)》

臨床症状・措置方法:本剤の吸収が低下し、効果が減弱されるおそれがあるので、本剤の投与後2時間以上間隔をあけて投与する。

機序・危険因子:機序不明

外国で健康成人にセフジニル 300mg と制酸剤(Maalox TC) 30mL(水酸化アルミニウム120mg/mL、水酸化マグネシウム 60mg/mL)とを同時に経口投与したとき、セフジニルの吸収が約 40%減少したとの報告があります¹⁾。

注:本邦において本剤の承認された用法及び用量は、「通常、セフジニルとして成人 1 回 100mg (力価)を 1 日 3 回経口投与する。なお、年齢及び症状に応じて適宜増減する。」である。

参考資料

1)社内資料

【製品名】

セフゾン

【分類】

使用法

【質問】

セフゾンと鉄剤との相互作用について教えてください。

【回答】

セフゾンの添付文書に以下の様に記載しております。

10. 相互作用

10. 2 併用注意(併用に注意すること)

鉄剤

臨床症状・措置方法:本剤の吸収を約 10 分の 1 まで阻害するので、併用は避けることが望ましい。

やむを得ず併用する場合には、本剤の投与後 3 時間以上間隔をあけて投与する。

機序・危険因子:腸管内において鉄イオンとほとんど吸収されない錯体を形成する。

投与量別での試験は行われていませんが、セフゾンと鉄剤を投与時期を変えて併用した試験データを以下に紹介します。

◇徐放性鉄剤でのデータ¹⁾

健康成人男性 6 例を対象に、セフゾンの吸収に及ぼす鉄剤の影響を検討。

【結果】

・セフゾンと鉄剤を同時投与

単独投与に比べ吸収が約 10 分の 1 (AUC_{0-12} が 8%、 C_{max} が 9%) まで低下。

・セフゾンの投与 3 時間後に鉄剤を投与

単独投与に比べ AUC_{0-12} が 64%、 C_{max} が 75% まで低下。

なお、徐放性鉄剤以外の鉄剤については検討されていません。やむを得ず併用する場合には、添付文書記載の通り、セフゾン投与後 3 時間以上間隔をあけて投与してください。

参考資料

1) Ueno K et al.: Clinical Pharmacology and Therapeutics, 54 (5): 473-475, 1993

【製品名】

セフゾン

【分類】

特定患者

【質問】

セフゾンの腎障害患者・透析患者への投与は可能ですか。

【回答】

セフゾンは「高度の腎障害のある患者」について「9. 特定の背景を有する患者に関する注意」で注意喚起しています。

添付文書に以下の様に記載していますが、腎障害患者（血液透析患者を除く）の具体的な投与量・投与間隔は示しておりません。

9. 特定の背景を有する患者に関する注意

9. 2 腎機能障害患者

9. 2. 1 高度の腎障害のある患者

腎障害の程度に応じて投与量を減量し、投与の間隔をあけて使用すること。血中濃度が持続する。

[7. 、16. 6. 1参照]

7. 用法及び用量に関連する注意

血液透析患者では1日100mg 1回投与が望ましい。

なお、「8. 重要な基本的注意」及び「11. 1 重大な副作用」の項には以下の記載があり、投与にあたっては十分な観察が必要です。

8. 重要な基本的注意

8. 4 急性腎障害等の重篤な腎障害があらわれることがあるので、定期的に検査を行うなど観察を十分に行うこと。[11. 1. 7参照]

11. 副作用

11. 1 重大な副作用

11. 1. 7 腎障害(0.1%未満)

急性腎障害等の重篤な腎障害があらわれることがある。[8. 4参照]

また、セフゾンの透析除去率は以下の通りです。

1)腹膜透析(CAPD)¹⁾

CAPD 施行患者(BUN 34～90mg/dL、SCr 2.3～17mg/dL)4 例に CAPD 施行 2 時間前にセフゾン 100mg(力価)を単回経口投与したとき、投与後 23～25 時間で透析液へ 1.45～5.23mg 移行した。

2)血液透析(HD)²⁾

61%

參考資料

1) Tomino Y et al.: Arzneimittel-Forschung,48(8) :862-867,1998

2) Hishida A et al.: Antimicrobial Agents and Chemotherapy,42(7) :1718-1721,1998



目次へ戻る

【製品名】

セフゾン

【分類】

薬効・薬理・薬物動態

【質問】

セフゾンの代謝・排泄について教えてください。

【回答】

セフゾンの添付文書に以下の様に記載しております。

16. 4 代謝

ヒトの血漿、尿及び糞便中には抗菌活性代謝物質は認められていない¹⁾。

16. 5 排泄

16. 5. 1 主として腎より排泄される。

参考資料

1) 島田 馨 他: 日本化学療法学会雑誌, 37 (Suppl. 2) : 208-245, 1989

【製品名】

セフゾン

【分類】

使用法

【質問】

セフゾンをカルシウム製剤と同時投与することは可能ですか。

【回答】

以下より、セフゾンとカルシウム製剤との同時投与は可能と考えられます。

・セフゾンは、カルシウム製剤とは併用禁忌、併用注意ではありません。
また、セフゾンとカルシウム製剤との相互作用の報告はありません。

・イヌのデータ¹⁾²⁾ですが、セフジニルカプセル 100mg と乳酸カルシウム*200mg を同時に経口投与し、薬物動態と尿中排泄率をセフジニル単独投与と比較したところ、併用時のセフジニルの血中濃度パラメータ(Cmax、Tmax、T1/2、AUC、尿中排泄率)に有意差はありませんでした。

* 乳酸カルシウム: C₆H₁₀CaO₆(分子量: 218.22)97.0%以上含有

参考資料

- 1) 出口収平 他: 医薬品研究, 25(9): 751-756, 1994
- 2) 社内資料

【製品名】

セフゾン

【分類】

特定患者

【質問】

セフゾンを妊婦に投与可能ですか。

【回答】

セフゾンの添付文書に以下の様に記載しております。

9. 特定の背景を有する患者に関する注意

9. 5 妊婦

妊婦又は妊娠している可能性のある女性には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。

[参考]

海外におけるセフゾンの胎児に対する危険度分類は以下の通りです¹⁾。

・米国食品医薬品局(FDA):Pregnancy Category B(2018年1月)

参考資料

- 1) セフゾンカプセル(50mg/100mg) インタビューフォーム
X II. 参考資料 2. 海外における臨床支援情報



目次へ戻る

【製品名】

セフゾン

【分類】

使用法

【質問】

セフゾン[®]を粉ミルク摂取している児に投与した場合、吸収に影響はありますか。

【回答】

鉄添加粉ミルク摂取直後にセフゾン細粒を服用した外国データでは、吸収にほとんど影響がみられなかったとの報告があります¹⁾。

【参考】

鉄剤とセフゾンは併用注意です。

[セフゾン添付文書10. 相互作用 10. 2 併用注意]

貧血治療用の鉄剤は鉄含有量が多く、同時投与では、セフゾンの吸収が10分の1程度に低下¹⁾しますので併用は避けることが望まれます。

参考資料

1)社内資料



目次へ戻る

【製品名】

セフゾン

【分類】

使用法

【質問】

セフゾン細粒小児用を成人に投与できますか。

【回答】

セフゾン細粒小児用は、小児用として開発され承認された製品です。

成人での適応を取得しておりません。

成人に対して投与された場合、適応外使用になります。